

オリーブオイル負荷による WHHLウサギの外因性脂質吸収能の評価

○ 塩見 雅志, 伊藤 隆, 田村 敏昌, 山田 悟士, 木下 肇¹

(神戸大学医学部附属動物実験施設, ¹日本たばこ産業医薬総合研究所)

【背景】 WHHLウサギの内因性脂質代謝についてはLDL受容体機能をはじめとして詳細に検討されているが, 外因性脂質の吸収能についての検討は少ない.

【目的】 WHHLウサギの吸収能を調べる目的で, オリーブオイルを経口投与し, 血漿脂質に及ぼす影響を検討した.

【方法】 6月齢のオスのWHHLウサギを生理食塩水投与群(S群), オリーブオイル投与群(O群), オリーブオイル+MTP阻害剤投与群(OM群), 各々5匹ずつ3群に区分した. 24時間絶食後, オリーブオイル1.5 ml/kgを経口投与した. オリーブオイル投与前および投与後に採血し, EDTAを添加して血漿を調製した. 血漿中の中性脂肪, 総コレステロール, リン脂質は酵素法で測定した. リポタンパクはアガロースゲル電気泳動で分画した. また, 同月齢の日本白色種ウサギ(JW)5匹にオリーブオイルを投与し, 中性脂肪値を測定した.

【結果】 中性脂肪は, S群ではほぼ一定であったが, O群では投与14時間後に1.7倍に増加した. OM群では中性脂肪の増加は認められなかった. オリーブオイル投与は総コレステロールとリン脂質に影響を及ぼさなかった. カイロミクロン分画の中性脂肪値はS群とOM群では変化しなかったが, O群では投与10時間後から上昇した. JWにおいても血漿中性脂肪値はオリーブオイル投与10時間後から上昇した.

【結論】 WHHLウサギのオリーブオイル吸収能はJWと同様で, 異常は認められなかった.